

免疫グロブリン大量静注療法を受けられる方へ

患者氏名：

| 経過 (日付) | 入院日 | | 入院2日目-5日目 | | 入院6日目 | | 退院予定日 | | 退院後 初回受診時 |
|------------|--|---|--|--|---|---|--|---|--|
| | 月 | 日 | 月 | 日 | 月 | 日 | 月 | 日 | |
| 到達目標 | 治療について理解できる。 | | 免疫グロブリンによるアレルギー症状が見られない。(脈が速くなる、血圧が下がる、発熱など) | | 検査値に異常がみられない。 | | 退院後の生活について理解できる。 | |  ☆☆退院後、退院後初回受診日までに異常を感じましたら受診日をお伝えいただけます。退院日を待たずに受診してください。 |
| 治療・処置 | | |  免疫グロブリン大量静注療法を行います。 |  副作用が出やすい方はアレルギー止めの薬も併用します。 |  |  点滴による副作用(血圧低下、発熱、息苦しさ、嘔気など)がみられることがあります。副作用がありましたらすぐに看護師へお伝えください。 |  点滴が血管外に漏れると、組織の損傷を起こすことがあります。点滴の腫れや痛みがときは、早急にお知らせください。 | | |
| 検査 |  血液検査を受けます。 胸部レントゲン、心電図を取ります。 | |  血液検査を受けます。 | | | | | | |
| 安静 | 制限はありません。 | |  点滴中は病棟内で過ごすようにしましょう。 | | | | 制限はありません。 | | |
| 食事 |  高血圧症や糖尿病などの病気がある方は必要に応じて制限食がです。 | | | | | | | | |
| 排泄 |  病棟もしくは病室のトイレを使いましょう。 | | | | | | | | |
| 清潔 |  シャワー・入浴が可能です。(点滴刺入部を防水保護するれば、入浴は可能です。看護師に声をおかけください。) | | | | | | | | |
| 説明 |  主治医より治療の内容や副作用についての説明をします。  看護師より入院時のオリエンテーションを行います。  薬剤師より現在服用中のお薬について伺います。 | | | |  血液検査の結果をお伝えします。 | |  合併症状がないか確認します。次回受診時までの日常生活の注意点を説明します。  看護師が退院時説明、書類をお渡しします。  | | |

※今回の入院につきまして現時点での診療計画は以上の通りです。なお、この説明は現在の病状から予測される範囲のものです。
 ※病状等に变化がございましたら、その都度ご説明をさせていただきます。ご不明の点がございましたらお申し出ください。